

Topics of the month

<長崎創生プロジェクト認定> 第2回 長崎MICEスクールを開催

1月17日(金)、長崎市の長崎商工会館にて第2回長崎MICEスクールが開催されました。
(第1回開催の様子は弊誌2019年12月号に掲載)

本

スクールは2021年
11月開業予定の長崎市

のMICE施設「出島メッセ長崎」を舞台にFFGと長崎市、経済団体が連携し、地域の稼ぐ力を高め、地域が活性化することを目的として、MICEビジネスを学ぶ場を提供させていただきます。今回が全10回のうちの2回目の講義となります。

長崎市内の事業者50社55名が参加され、第1部ではDMO六本木事務局長で森ビル株式会社の坂本和也氏による講演、第2部では株式会社コングレの釘田明子氏のコーディネートによるワークショップが行われました。

坂本氏は「MICE誘致によ



▲第1部の講演会の様子



▲稲積FFG MICEリーダーによる開催挨拶



▲コングレ釘田氏によるワークショップの様子



▲森ビル坂本氏による講演の様子

る地域活性化、DMO六本木の取り組み」をテーマに海外のプランナーが企業の報奨・研修旅行や学会、国際会議を企画し、開催地を選定する際にリクエストすることなどを語っていただき、実際にDMO六本木が取り組んだ活動や成功事例が紹介されました。

第2部のワークショップでは「チームビルディングでMICEにおける長崎ブランドを考える」と題して異文化マネジメント歴40年超の釘田氏がMICE成功のヒントとして地域全体で歓迎する仕組み作りや地域の新しい魅力の開発、デステイネーションマーケティングに取り組む必要があることを語っていただきました。

さらに参加者による異業種同士のグループワークも行わ

れ、長崎の強みと弱みなどが活発に議論されました。長崎はMICE都市としてはこれからであり、長崎がこれからのような取り組みをやっていくかなければならないかグループごとに意見やアイデアが出され、最後にグループ代表による発表が行われました。

発表意見には「長崎の今あるものを活かしながら、外からの目線で再発見していくことが必要である」、「食や歴史などの強みを知って、きちんと伝えていくことが重要である」などがあり、あらためて長崎の良さと課題を参加者で認識を共有し、活発なグループワークとなりました。

全体を通して、参加者からは、「今後の自社のビジネス展開のヒントを学ぶことができた」、「様々な事業者の方とMICE

を軸としたコミュニケーションが取れることは貴重な経験である」、「個人の観光客とMICEを目的とした訪日客のニーズの違いなどが理解できた」などのご感想をいただきました。

最後に長崎市MICE推進室の松島係長より、旧香港上海銀行長崎支店記念館のユニークベニュー(※)としての活用実証についての説明があり、同建物を活用したフィールドワークの案内が行われました。

(※)歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のこと

次回、長崎MICEスクールは2020年3月を予定しております。



▲2021年11月に開業予定の出島メッセ完成予想図



▲第2部のワークショップの様子